

あひま サタダ

2026



vol.281

6



はいっポーズ!

《温根湯地区・松山》

さくら ふたば
真野咲羅ちゃんと双芭ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

令和8年度
新規就農者紹介



水稲の移植が 順調に進む

季節の薫り



当JA管内では、5月中旬から水稲「きたゆきもち」の田植え作業が始まりました。5月25日、きたみらいもち米振興会の会長を務める福田堅一さんの圃場を訪れると移植作業を行っていました。福田さんは今年、約7.4畝の作付けを予定しており5月23日から作業を開始。今年の作付けについて「初夏は不安定な天候から苗の成長が遅かったが、例年通りの時期に移植作業を行うことが出来た。今年も豊作を願って田植えを行うので、消費者のみなさんにお米をたくさん食べてほしい」と意気込みを話しました。

当JAでは今年度、約660畝の作付けを計画し、約4,000トンの生産量を見込んでいます。



おひさまサラダ

をホームページで 閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。

右下にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



もくじ CONTENTS

○ まちがいがさし	20	○ 表紙紹介	2
○ JAからのお知らせ	12	「運動神経バツグン！ 仲良し姉妹」	2
○ みらいプロジェクトチャンネル	11	○ JAトピックス	8
○ ほのぼの広場 ・ なかよし夫婦 ・ みらいサポーターJA職員	10	○ 季節の薫り	2
		令和8年度 新規就農者紹介	4

表紙紹介

運動神経バツグン！仲良し姉妹

鮮やかな新緑に爽やかな風が吹いた5月26日、温根湯地区松山の眞野家を訪問し、可愛らしい笑顔の咲羅ちゃんの手を振りながら話しかけてくれました。歩み寄ると、双芭ちゃんも咲羅ちゃんの後ろから恥ずかしく顔を覗かせて迎えてくれました。長女の咲羅ちゃんは習い事でピアノとチアダンスを頑張っています。温根湯フレンドセンター（児童館）や小学校ではお友達と鬼ごっこで遊んでいます。次女の双芭ちゃんもボール遊びやキャッチボールにハマっています。継続して習得する努力型の咲羅ちゃんもヤンチャな性格の双芭ちゃんは2人とも運動が得意なようです！眞野家の広々とした敷地にある牛舎では、小さい時に牛の哺乳作業を経験し牛慣れしている咲羅ちゃんも、牛が怖い双芭ちゃん2人で牛舎内の糞袋された道を自転車で走り抜けます！咲羅ちゃんの名前の由来は、「子どもにラ行を付けたい」お母さんの希望と、「笑」の古字だった「咲」の字には明るく笑ってほしい。人生楽しいと願いが込められています。双芭ちゃんは、自然のようにならびのびと、個性的で特別感がある名前を、お父さんが仕事に考えました。お母さんは「いつまでも2人仲良くいてほしい」、お父さんは「何でも挑戦してほしい」と優しい眼差しで子どもたちへの思いを話してくれました。



【ご家族紹介】
左から～お父さんの泰侑さん(42)、次女の双芭ちゃん(3)、お母さんの朋子さん(43)、長女の咲羅ちゃん(8)
経営内容：乳牛を約200頭飼育し、採草地、デントコーン、秋小麦を約67%作付けしています。

令和8年度 新規就農者紹介

特集

J Aきたみらいの各地域に将来を期待される仲間が就農しました。未来を担う新規就農者の12名に抱負を語っていただきました。



訓子府地区・清住 ^{まつうら}松浦 ^{そうま}奏馬さん (19歳)

就農したきっかけ

子どもの頃から親の手伝いをしていたことで自然と農業を継ごうと思うようになり、高校卒業を機に就農を決めました。

今後の抱負

なるべく早く仕事を覚え、親の負担を減らせるように頑張りたいです。

★野菜専業経営の松浦靖さんの後継者です。

訓子府地区・豊坂

^{なかにし}中西 ^{たつき}達輝さん (26歳)
^{ゆうこ}優子さん (35歳)

就農したきっかけ

2人とも東京で働いていたなかで、北海道で農業に携わりたいという気持ちが芽生え、夫婦で実家の農業をすることに決めました。

今後の抱負

慣れない作業が多く大変ですが、まずは知識を身に付け、早く仕事に慣れて頑張りたいです。



★畑作専業経営の中西浩司さんの後継者です。

北見地区・とん田 ^{いとう}伊藤 ^{だいき}大貴さん (18歳)

就農したきっかけ

中学生の時に家業である農業をやりたいと思い、高校卒業を機に就農しました。

今後の抱負

農業高校で学んできたことを活かし、栽培管理をしていきたいです。高校では特に畑作4品とドローン技術について学んできたので、今後取り組んでいきたいです。

★野菜専業経営の伊藤嘉郁さんの後継者です。



上常呂地区・常川 ^{ながみね}長嶺 ^{たいき}大樹さん (31歳)

就農したきっかけ

前職は飲食関係の仕事に就いていましたが、以前から第一次産業に興味がありました。妻との結婚を機に、将来的には経営を継ぐことも視野に入れながら、妻の実家を手伝うために就農するという新たな挑戦を決意しました。

今後の抱負

慣れない仕事でもあるので、まずは怪我や事故のないよう安全第一で取り組んでいきたいです。また、家族から多くのことを学び、知識や技術を身に付けながら頑張っていきたいです。

★酪野複合経営の有澤広宣さんの後継者です。



北見地区・上仁頃 ^{すみ}角 ^{とさや}斗希哉さん (24歳)

就農したきっかけ

J Aで勤めている時に実家を継ごうか悩んでいて、結婚と社会人5年目になったのをきっかけに就農しようと決心しました。

今後の抱負

2、3年かけて実家で基礎を学び、青年部等の講習会にも参加してたくさんの知識を得ていきたいです。

★畑野複合経営の合同会社角農産・角一弘さんの後継者です。



端野地区・一区 さがえ なおた
寒河江 直汰さん (20歳)

就農したきっかけ

小さい頃から家の農業を間近で見てきた影響で、自然と将来の選択肢は農業一択でした。

今後の抱負

まだまだ分からないことだらけなので、早く仕事を覚えて、美味しい玉ねぎを作りたいです。

★畑野複合経営の株式会社サガエファーム・寒河江直大さんの後継者です。



相内地区・豊田 こばやし はると
小林 春斗さん (26歳)

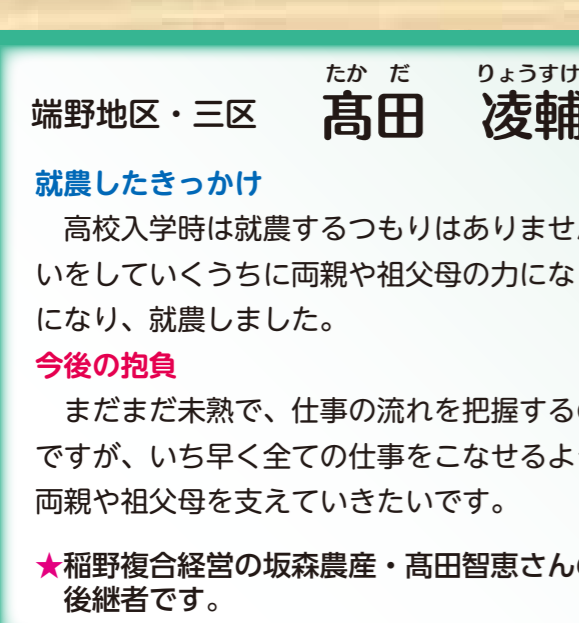
就農したきっかけ

高校生くらいの頃から就農することを考えていました。就農前に知識を増やしておきたいと思い、機械が好きなのもあってしばらく農機具メーカーに勤めた後、昨年就農しました。

今後の抱負

機械作業やメンテナンスは前職の経験が役立っています。今後はどんどん他の知識もつけながら、少しでも早く農業に慣れていきたいです。

★稲畑野複合経営の小林正明さんの後継者です。



端野地区・三区 たかだ りょうすけ
高田 凌輔さん (21歳)

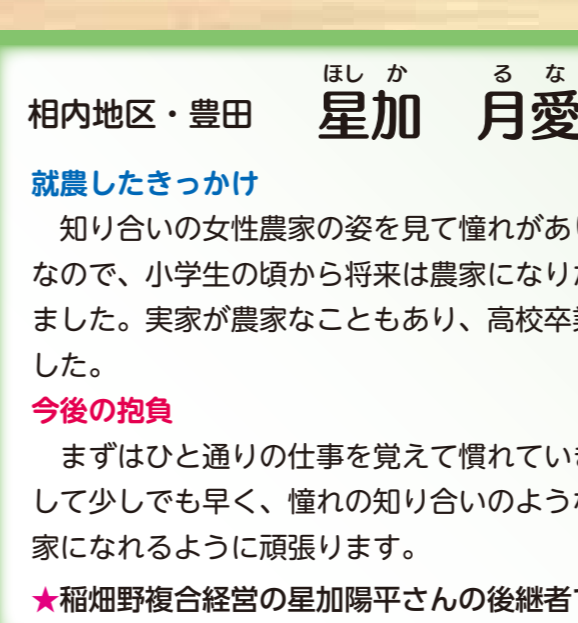
就農したきっかけ

高校入学時は就農するつもりはありませんでしたが、手伝いをしていくうちに両親や祖父母の力になりたいと思うようになり、就農しました。

今後の抱負

まだまだ未熟で、仕事の流れを把握するのに精一杯ですが、いち早く全ての仕事をこなせるようになり、両親や祖父母を支えていきたいです。

★稲畑野複合経営の坂森農産・高田智恵さんの後継者です。



相内地区・豊田 ほしか るな
星加 月愛さん (18歳)

就農したきっかけ

知り合いの女性農家の姿を見て憧れがあり、自然も好きなので、小学生の頃から将来は農家になりたいと思っていました。実家が農家なこともあり、高校卒業後に就農しました。

今後の抱負

まずはひと通りの仕事を覚えて慣れていきたいです。そして少しでも早く、憧れの知り合いのような一人前の農家になれるように頑張ります。

★稲畑野複合経営の星加陽平さんの後継者です。



端野地区・協和 かめだ なおと
亀田 南音さん (22歳)

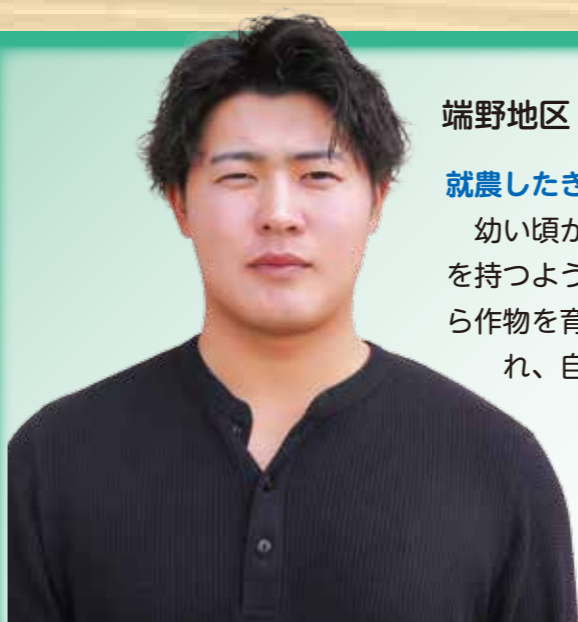
就農したきっかけ

私は元々、農業の後継者不足は深刻なものと思っており、実家も後継者がいない状態でした。高校生の私は実家の農業が消えてしまうのは寂しく社会的にも損失になると感じ、就農することを決めました。

今後の抱負

まだまだ未熟者ですので、どんどん仕事を覚えていきたいです。加えて良い経営ができるよう学び、精進します。

★畑野複合経営の亀田寿光さんの後継者です。



端野地区・緋牛内 たけだ たくま
武田 拓真さん (20歳)

就農したきっかけ

幼い頃から畑で汗を流す父の背中に憧れ、自然と農業に興味を持つようになりました。1年を通し、四季の変化を感じながら作物を育て、人の暮らしを支える農家という仕事に強く惹かれ、自分もこの道で挑戦したいと思い、就農しました。

今後の抱負

少しでも早く一人前になり、父と母を楽にしておあげられるように毎日頑張っていきたいです。

★畑野複合経営の武田健一さんの後継者です。



J A トピックス

北見市内の小学校にて 出前授業を開催

当JAでは5月7日から19日にかけて、食育事業として北見市内の小学校12校を対象に玉ねぎの出前授業を行いました。
職員が苗の植え付け方法を説明し、実際に児童自ら畑へ植え付けを行いました。児童は初めての作業に戸惑いながらも、苗を大切に扱い、丁寧に植え付けを行っていました。



▲職員の説明を聞く児童たち

植え付け後は「どのようにしたら大きく育つのか」「水やりの頻度はどのくらいか」などの質問が挙がり、豊作に向けて大切に育てようという意気込みがうかがえます。
また「玉ねぎとねぎはどう違うのか」「どれくらいの量の玉ねぎが作られているのか」などの質問も挙がり、玉ねぎに興味を持つきっかけになったのではないでしょう。



▲玉ねぎを植え付ける児童たち

入牧作業、今年も無事終える

当JA管内では5月中旬から、管内各地の牧場で乳牛などの一斉放牧が行われました。北見市留辺薬町にある花園牧場では5月15日に入牧が行われ、放牧利用地約83畝の広大な牧場に、留辺薬町の12戸から集められた、主に月齢10〜18か月の牛190頭が放たれました。

牛たちはトラックから降りて耳標番号の確認や消毒などを済ませ、管理番号を付けられた後、次々と入牧しました。



▲トラックから勢いよく牧場に放たれる牛たち

牧場を管理する牧場長の工藤寛巳さんは「今年の大型連休前は牧草の生育が悪く、入牧に間に合うか心配だったが、今はちょうどいい長さまで育っている。預かった牛たちは、熱中症や病気になることなく健康に育って酪農家のもとへ帰ってほしい」と話しました。
当JA管内での入牧作業は5月29日に終了。牛たちは約5か月間広大な牧草地で足腰を鍛え、10月下旬に各酪農家のもとへ帰る予定です。



▲入牧準備を済ませ、広大な放牧地に放たれるのを待つ牛たち

特定技能生5人

作業開始

当JAでは5月より新たにミヤンマーから特定技能生5人を迎え、上旬から農作業を開始しました。玉ねぎの補植作業に始まり、下旬からは水田のゴミ上げ作業にも取り組みました。最初は戸惑いもみられましたが、徐々に慣れ、手際も良くなっていきます。今後はにんにくやペコロス、サラタマの

収穫作業などに取り組み予定です。現在、ベトナムから受け入れている特定技能生1人と技能実習生2人とは、日本語でコミュニケーションを図りながら、作業にも一生懸命に取り組んでいます。今後も特定技能生たちが組合員の圃場や農協施設など、様々な場所で作業を行う予定です。



▲玉ねぎの補植作業を行う様子



▲水田のゴミ上げをする様子

役員研修を実施

～JAきたみらい女性部本部～

JAきたみらい女性部本部は5月20日に役員研修を行い、役員9人が出席しました。本研修は女性組織への積極的な学習機会の推進とリーダー育成を目指し、例年行われています。

研修では、当JAセンター事務所企画人グループ扇谷光輔マネージャーより参与制度について説明を受けました。参与設置に至るまでの背景と、女性・青年層のJA運営参画促進に向けたJAグループや当JAの取り組みを学びました。役員研修では令和6年度

から参与制度の説明を取り入れ、今年度で3回目の開催となりました。

研修終了後は、懇親会として釧路市のあかん遊久の里 鶴雅に宿泊し、交流を深めました。

参加した女性部の山内千秋部長は「分かりやすい説明で、参与制度の趣旨や導入の背景、JAとしての役割などを学ぶ貴重な機会となった。今後の女性部活動に繋がって活かしたい」と感想を述べました。



▲研修の様子



▲懇親会場にて

みらいプロジェクトチャンネル

食料品小売店について② vol.58

北海道大学大学院農学研究院 李 澍

「地域にあり、誰にでも開かれていて日常的に気負わず立ち寄れる場」と聞くと、皆さんはどのような場所をイメージしますか？集落の公民館や集会所のように、集まりごとや行事・お祭りの準備の際に利用される場所、あるいは農協の支所や郵便局のように、顔馴染みの人たちが働いていて行けば誰かに会える場所。または、昔からよく知っているレストランや近くにできて気になっているカフェのように、つい足を運びたくなる場所。挙げてみれば意外と色々ありますが、食料品店はどうでしょう。

地域の方の買い物に関する調査で、オホーツクのとある町で初めて食料品店調査を行いました。そこで驚いたのは「地域の方からどんな使い方をされているか」という質問に対して「1日に何回も来る方が多いこと。特に、おじいちゃんおばあちゃんたちは何も買わなくても来る」という話を聞いたことです。そして、お店の方は口を揃えて「話し相手が欲しいんだよね」「忙しい時はできないけど、できる時は必ず喋るようにしている。あとは重いものを運んであげたりして」と、地域の店に立つ人として、また、お互い顔見知りの中での関係の中にある1人として、ごく当たり前の話として説明してくれました。

買い物が難しくなって、社会との繋がりも少なくなった高齢者にしてみれば、こうした店が大事な場所になっているのだろうと納得できる部分もあるのですが、果たして本当にそれだけなのでしょうか。確かに、目に見えやすい側面では高齢者にとっての交流や見守りの場という意味合いが強いのかもかもしれません。しかし、公共施設も店舗も減って地域行事も縮小するなか、人との繋がりそのものが少なくなってきた農村地域において、日常的に利用できる場であってお金をあまり意識せず利用するハードルが低い食料品店は高齢者に限らず、地域の方にとって重要な場所になっているのではないかと考えられます。そう考えずにはいられなくなりました。

一方で、農村地域にある他の施設と同じように食料品小売店も人口減少や競争激化のなかで、衰退や閉店が進んでいます。もし、人々が気づかない、あるいは気づきにくいところで食料品店が地域の繋がりを支える役割の一部を担っているのだとしたら、その閉店は単なる「店がなくなる」という問題では済みません。

では、地域の食料品店は実際に地域の人びとにとってどんな場所となりうるのか。また、その維持のあり方をどのように考えるべきなのか。その問いを考えるため、地域との結びつきが強いとされる沖縄の「共同売店」に着目しました。

約120年前、交通手段が乏しく、適正な価格での買い物が難しかった沖縄本島北部で、購買・販売を通じて集落住民の暮らしを支えるために生まれたのが、共同出資・共同所有を特徴とする共同売店です。その後、共同売店は周辺集落や各地の農村地域へと広がり、購買・販売だけでなく、交通・通信手段の提供や奨学助成事業など、地域の必要に応じて役割を広げてきました。時代の変化とともに衰退していったものの、それでもなお多くの地域で「ただのお店ではないから」という思いのもとで、それぞれの形で店を守り続ける人たちがいます。

ただのお店ではない。その気持ちの正体は、何でしょうか。（つづく）



30年以上前に撮影された夜の共同売店（撮影者：屋良朝栄）

ほのぼのの 広場



なかよし夫婦

理想のマイホームで
過ごす新しい暮らしが楽しみ

北見地区・川東

小川	圭輝	すけ 祐さん(35歳)
		こ 子さん(35歳)

Qお付き合いから結婚に至るまで
一昨年、JA主催で開催された婚活イベント「阿寒へGO!」で出会い、LINEでのやり取りやデートを重ねるうちに交際が始まり、結婚に至りました。

Qお二人の趣味は?
圭祐さん…アニメ鑑賞とゲームです。
輝子さん…漫画を読むことと手芸です。

Qこれからしたいことは?
現在、マイホームの建築に向けて設計をお願いしているところです。蔵のある家に憧れており、理想の住まいが完成するのを夫婦で楽しみにしています。

Qお互い好きなところは?
圭祐さん…相手の話を前向きに受け止めてくれるところ。
輝子さん…自分は考え込みやすい性格なので、明るく楽観的なところに助けられています。

Qお互いに伝えたいこと
圭祐さん…これからも何気ない日常を大切にしながら、年を重ねても仲の良い夫婦でいよう！

輝子さん…仕事を頑張ってくれてありがとう。これからも体に気を付けながら、元気に仕事を続けてほしいです！

みらいサポーターJA職員



訓子府地区柏丘の西森大樹さんと柴崎職員

経営支援部ふれあい相談南グループ
(訓子府地区事務所)

柴崎 凌我さん(25歳)

令和5年入組

- **主な担当業務**
経営相談、営農技術指導、制度資金活用支援、玉ねぎ・馬鈴しょの粗原確認
- **入組したきっかけ**
元々JAに興味があり、札幌で開催されていたJAグループ北海道採用合同説明会に参加したところ、当時JAきたみらいのブースで説明していた企画人事グループの土田主査がとても親身に接して下さり、当JAに魅力を感じました。また、北見に住んでいた時期もあることから地元の発展に貢献したい気持ちもあり入組しました。
- **業務中に意識していること**
組合員さんから聞かれたことや、頼まれた案件については素早い対応を心がけています。また、わからないことに関しては一度持ち帰り、しっかり調べた上で答えるようにしています。
- **プライベートについて**
ドライブが好きなので休日は遠出して景色を見たり道の駅のスタンプを集めたりしています。お気に入りの道の駅は「樹海ロード日高(日高町)」「だて歴史の杜(伊達市)」です。
また、趣味として新しくゴルフと高校以来のテニスを始めました。久しぶりに体を動かすとなかなか楽しいです。
今年はプライベートでも色々なことにチャレンジする年にしたいと思います！

INFORMATION



ミャンマーから来た特定技能生5人を紹介

5月より営農振興部担い手グループに配属された特定技能生5人を紹介します。

メインさん



ナン マインズ ジントウンさん
2004年9月20日生まれ (21歳)

トウザーさん



トウ ザー ミンさん
1999年11月14日生まれ (26歳)

ヨンさん



ヨン エンドレイ ウーさん
2005年7月30日生まれ (20歳)

ニンさん



ニン エンドレイ ラインさん
2003年6月7日生まれ (23歳)



プーさん



エンドレイ プーさん
2005年4月17日生まれ (21歳)

令和8年度農薬取り纏め「JAねっと注文」ご利用者プレゼントキャンペーン当選者発表

令和8年農薬取り纏めにおいて「JAねっと注文」をご利用いただき、誠にありがとうございました。

本年は267名の皆さまに「JAねっと注文」を利用して取り纏め農薬のご注文をいただき、厳正なる抽選の結果、42名の方がご当選となりました。

ご当選された皆さまへのプレゼントは、5月中に配布を完了しております。

また、令和8年2月からは、農薬や肥料だけでなく各種資材の取り纏めについても「JAねっと注文」でお申し込みいただけるようになりました。

今後とも、より便利で利用しやすいサービスの提供に努めてまいりますので、引き続き「JAねっと注文」をご利用ください。



24時間いつでも
注文・確認！



前年実績をもとに
簡単に注文！



注文金額が
すぐに分かる！

～JAきたみらい東京事務所通信～ Vol.17

～最近の農政情報トピックス～

東京事務所の業務として農政情報の受発信を行うべくロビー活動を日々展開しております。農業情勢の趨勢と施策・補助事業等の動向に注視し、国会議員、農林水産省やJA全中また各種政策協議の会議体への出席など首都圏における関係機関とのネットワークをフル活用し、迅速に農政情報を収集し、常勤並びに各関係部署へ情報提供を行っております。

また、生産現場の実態と課題などの情報を政策立案に関係する関係者に速やかに繋げるとともに、生産現場の課題をより理解して頂くために、関係議員や関係省庁の方々にはJAきたみらいに視察来訪頂き、生産現場の課題共有を頂いております。今回は、最近の農業情勢を踏まえ、国が現在協議を進めている重点的な施策やより生産現場に近い農政情報の話題をいくつかお繋ぎ致します。

1 農業構造転換集中対策 【参考：農林水産省HP】

現在、国では新たな基本法に基づく初動5年間(令和7～11年度)の農業構造転換集中対策期間において、食料安全保障の確保や農業・畜産の生産基盤の強化等を推進するため、コストの徹底的な低減に向けた農地の大区画化等や共同利用施設の再編集・合理化、スマート技術の開発と生産方式の転換・実装、輸出産地の育成を集中的・計画的に推進しています。

既存予算とは別枠で約2.5兆円規模で食料安全保障と農業の収益力向上を図る政策です。対策の全体像は以下の4本柱で政策が議論されております。

〈対策の全体像〉

<p>農地の大区画化等</p> <p>地域計画に基づく農地の集積・集約化やスマート農業技術の加速化による生産性向上を図るため、農地の大区画化等を推進</p> 	<p>共同利用施設の再編集・合理化</p> <p>老朽化が進んでいる共同利用施設等について、生産性の向上、物流の効率化等を図るため、再編集・合理化を支援</p> 
<p>スマート農業技術・新品種の開発、生産性向上を資する農業機械の導入</p> <p>・スマート農業技術の開発等、生産性の抜本的な向上を加速化する新品種の開発、これらに必要な農研機構の拠点施設整備等を実施 ・担い手等生産性向上に資する農業機械の導入、研修農場におけるスマート農業教育・研修環境の整備、畜産の施設整備及び機械導入等、省力化機械の導入等を支援</p> 	<p>施設整備、販路拡大等を通じた輸出産地の育成</p> <p>輸出額の達成に向け、輸出拡大余地の大きい現地系商流を獲得するため、徹底した低コスト生産の推進、製造施設等の整備、オールジャパンでのプランニング等の取組強化を推進</p> 

2 適正な価格形成をめぐる状況について

適正な価格形成の実現に向けて、令和8年4月1日より食料システム法が本格施行されました。国が定める基本方針に基づき、コスト指標が作成される「指定飲食品」に『米、野菜、飲用牛乳、豆腐、納豆』を指定することや、努力義務の判断基準(価格交渉へ臨む姿勢や商慣習見直しなど)などが示されております。先んじて4月には米のコスト指標が示されているところではありますが、現在、野菜(ばれいしょ、たまねぎ、キャベツ)の3品目で検討)、飲用牛乳のコスト指標についても、国による協議検討が進められております。コスト指標については、生産・安定供給に係るコストの適切な把握を行うこと、指標を考慮した適正な価格形成に向けて制度を運用することがポイントとなってきます。

3 食料品の消費税見直しをめぐる情勢

冬期地区別懇談会においてもご意見・ご要望がありました。食料品の消費税見直しによる農業への影響については、JA全中を中心に想定される課題を洗い出し、農業者への影響が無いような形で国の動向を注視しながら要請活動が展開されております。

まずは食料品が「ゼロ税率」か「非課税」とかという議論があります。(非課税とした場合、課税売上割合が下がり、本則課税事業者であっても仕入れ時に負担した消費税を控除できない)この問題については、現在、「ゼロ税率」で議論が進められており、最悪のシナリオは回避できるような議論が進められております。次に「ゼロ税率」になった場合の主な課題も以下の通り整理されております。

【本則課税事業者】・仕入れに要した消費税額の還付は受けられる一方、還付を受けるまでの間の資金繰りが悪化
【簡易課税事業者】・簡易課税の計算上、納付額はゼロとなる一方、仕入れに要した消費税額の還付は受けられない
【免税事業者】・仕入れに要した消費税額の還付は受けられない ・新たな事務負担の発生
現在、国では国民会議、実務者会議、有識者会議が設置され、夏前の中間取りまとめへ向け議論が加速しております。

INFORMATION

4月より高齢労働者の事故防止対策が努力義務化されました ～労働安全衛生法～

厚生労働省は、農業法人を含めた全ての事業場で働く高齢労働者の安全強化へ、指針を定めました。労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第62条の2第2項の規定に基づき、令和8年4月1日から「高齢労働者の事故防止対策」が**努力義務**として事業者者に課されます。指針では、当人の体力や健康状態に応じて従事させる作業内容を見直すことや、安全に作業させるために施設や装置を改善していくことなどを求めました。

令和8年2月10日に「高齢者の労働災害防止のための指針」を公開し、主に事業者側が講じるべき措置をまとめています。

指針で示した高齢労働者の主な安全対策

- ◎身体機能低下を補う環境改善
 - ・作業場所を明るくする ・手すりの設置
 - ・段差の解消 ・滑りの防止 ・危険を知らせる掲示
- ◎暑熱環境への対応
 - ・休憩場所の準備 ・通気性の良い服装の準備
 - ・熱中症の疑いの早期発見のための体制整備
- ◎健康状態の把握と対応
 - ・定期的な健康診断や体力チェックの実施
 - ・作業内容や勤務体系の見直し
- ◎安全衛生教育
 - ・法令で定める技能講習などに加え、作業内容とリスクを丁寧に説明
 - ・管理担当者への教育



高齢労働者の事故は多い傾向です。国の統計で、雇用者全体に占める60歳以上の労働者の割合は18.7%（2023年）ですが、労働災害の死傷者のうち60歳以上は29.3%（2023年）と高いです。業務内容に起因するリスクに、高齢者の身体機能低下によるリスクが上乗せされることで、事故発生率が高まるとされています。

◆ 出典：参考資料2
令和5年 高齢労働者の労働災害発生状況（令和6年5月27日厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課）

安全対策や厚生労働省のウェブサイトをご確認の上、高齢労働者の事故防止に努めていただけますようお願いいたします。

出典：厚生労働省ウェブサイト
「高齢者の労働災害防止のための指針」について（公示）
<https://x.gd/kbPu9>



出典：厚生労働省ウェブサイト
「高齢労働者の安全衛生対策について」
<https://x.gd/bY8Lp>



JAきたみらい管内イベント情報

※開催日は変更になる場合がありますのでご了承ください。

月	開催時期	イベント名	地区
6月	20日(土)～21日(日)	でっかいどうオホーツク北見ソーデーマーチ	北見
	28日(日)	おけと夏まつり・人間ばん馬大会	置戸
7月	11日(土)	香りゃんせフェスティバル	北見
	11日(土)～12日(日)	くねっぶふるさとまつり	訓子府
	17日(金)～18日(土)	北見ぼんちまつり	北見
8月	1日(土)～2日(日)	おんねゆ温泉まつり	温根湯
	14日(金)～15日(土)	るべしべ夏まつり	留辺蘂
	23日(日)	たんの太陽まつり	端野
9月	19日(土)	もっと馬力出すべえ祭	置戸
	20日(日)	たんのカレーライスマラソン	端野
	25日(金)～27日(日)	北見秋祭	北見
10月	24日(土)	端野物産フェア	端野
2月	上旬	北見厳寒の焼き肉まつり	北見
	上旬	さむさむまつり	訓子府
	上旬	北見冬まつり	北見

夏期地区別懇談会

～7月2日から各地区で～

令和8年度「夏期地区別懇談会」が次の日程で開催されます。懇談会は組合員の皆さんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJA運営に反映させることを目的として開催されます。

農繁期でご多忙とは思いますが、一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレッシュミズ、ご家族皆さんの出席をお願いいたします。

- 日程 7月2日（木）～7月7日（火）
- 時間 午前の部 9：00～12：00
午後の部 13：30～16：30

日程	地区事務所等	
	午前	午後
7月2日(木)	端野	上常呂
7月3日(金)	置戸	訓子府
7月6日(月)	留辺蘂	温根湯
7月7日(火)	北見	相内

※開催会場は改めてお知らせ致します。

きたみらいスマート農業推進協議会 会員募集

当協議会は、スマート農業に関する知識習得や情報交換などを目的に令和2年2月に設立されました。現在の協議会員数は236戸となっており、多くの生産者に参加頂いております。今年度も様々な活動を計画しておりますので、皆様のご加入をお待ちしております。

令和8年度 概要

- 会費 3,500円/年
- 活動計画
 - ・スマート農業展示会
 - ・視察研修
 - ・ドローン座談会 等

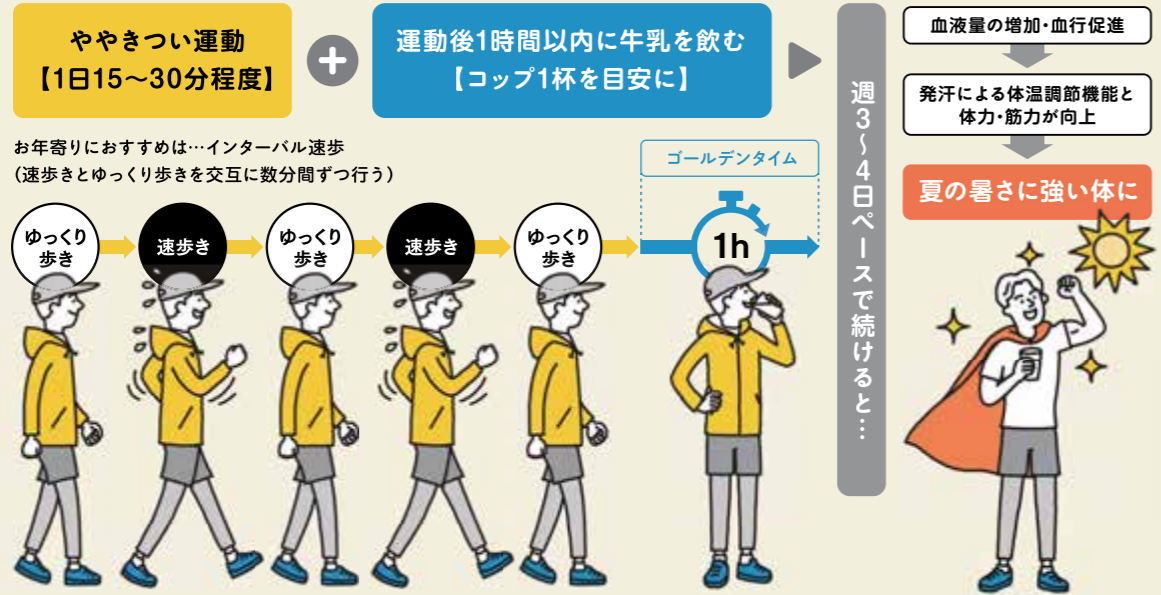
令和7年度 開催 スマート農業展示会の様子

≪加入申込に関する問い合わせ先≫
 JAきたみらい営農振興部企画振興グループ
 小室・鬼塚（32-8786）

INFORMATION

1日15分以上の運動+コップ1杯の牛乳が効果的です

熱中症になりにくい体づくりには、息が弾むくらいの“ややきつい”運動を1日15～30分ほど行い、運動後1時間以内にコップ1杯の牛乳を飲むのがおすすめです。週3～4日のペースで続けることで、体温調節機能と体力が少しずつアップします。ご自分の体調に合わせて、無理のない範囲で取り組んでみてください。



運動後の牛乳は、良質なたんぱく質で“血液量を増やして”熱中症に負けない体をつくれます。



監修/インターバル速歩考案：信州大学 学術研究院医学系 特任教授・医学博士 能勢 博

インターバル速歩のような「ややきつい」と感じる運動直後には全身のたんぱく質合成が促進します。このタイミングで「牛乳」を飲むと、肝臓ではアルブミン、筋肉では筋線維の合成が促進します。アルブミンは血管外から水分を引き込んで血液量を増やして、筋肉の肥大はそのポンプ作用で心臓に多くの血液を戻します。その結果、皮膚の血流が増え、発汗も起こりやすくなり、体表から放散される熱量が増えて、熱中症にかかりにくくなるのです。

運動後の体にうれしいミルクドリンク

ビタミン・ミネラルの補給に
「オレンジヨーグルトミルク」

材料・作り方 (1杯分)

- 牛乳……………200ml
- プレーンヨーグルト……………100g
- オレンジ※1……………1個
- 砂糖※2……………大さじ1

※1 オレンジジャムでも可
この場合砂糖は不要
※2 オレンジの甘さにより加減

- 皮をむいたオレンジをグラスに入れる。
- 牛乳とプレーンヨーグルト、砂糖をダマがなくなるまでよく混ぜる。
- ①のグラスに②を入れて完成。

素早いリカバリーをサポート
「キウイミルクスムージー」

材料・作り方 (1杯分)

- 牛乳……………200ml
- プレーンヨーグルト……………適量★
- キウイ……………1個

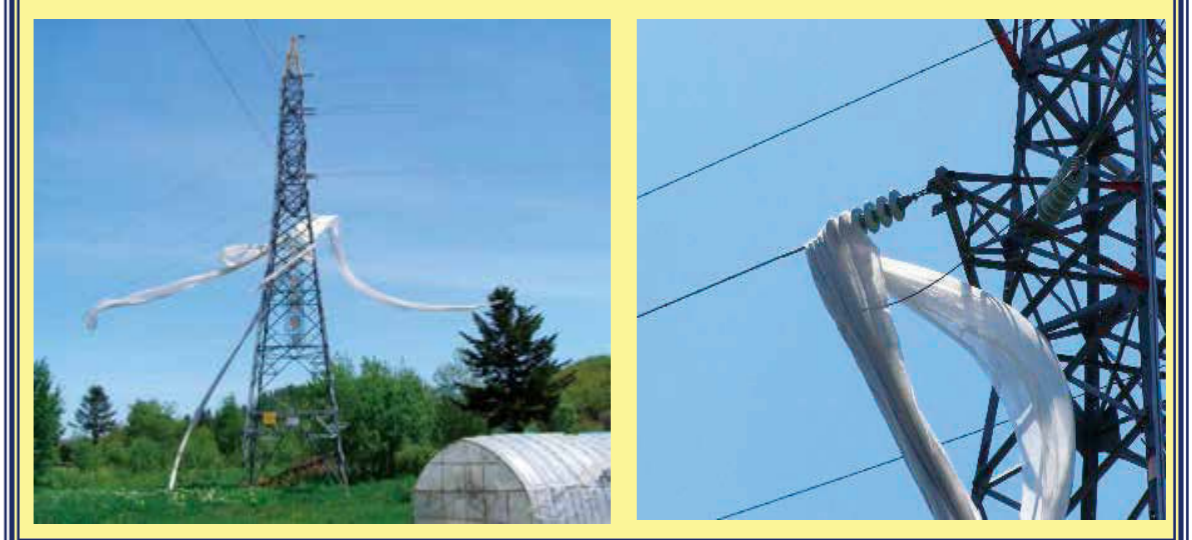
★水切りしたヨーグルト 大さじ2～3がおすすめです。

- キウイを小さめにカットする。
- 牛乳とヨーグルト、①をなめらかなるまでミキサーにかける。
- グラスに注いで完成。

お問い合わせ 一般社団法人Jミルク コミュニケーショングループ
milkday@j-milk.jp

「農業用保温シート（パオパオ）飛散の防止と連絡のお願い」

保温シートが強風により飛ばされて送電線に絡まる可能性があります！！



保温シート(パオパオ)が強風で飛ばないように、対策をお願いします。
保温シートが飛ばされて送電線に絡まった場合、ご自身での撤去・回収は、絶対にしないで下さい。送電線に絡んだ保温シートに接近・接触すると、感電の恐れがあります。安全な場所まで移動して、直ちに最寄りの【ほくでんネットワーク】へ連絡して下さい。

【ご相談・撤去費用は無料です】

ご連絡・問合せ先：〒090-0834 北見市とん田西町223-1

とん田西事務所
北海道電力ネットワーク(株)北見支店 送電グループ
電話：0157(23)6879

INFORMATION

第4回 理事会報告

5月29日、午前11時00分より第4回定例理事会が開催され、報告事項17件、決議事項8件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①内部監査（融資部門）報告について
 - ②財務状況報告について
 - ③信用事業取引における反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況について
 - ④夏期手当の支給について
 - ⑤北見市に対する令和7年度銀行等引受債の貸付について
 - ⑥作況調査（5月15日）報告について
 - ⑦JAきたみらいPCN侵入・拡散防止対策実施要領の改正について
 - ⑧JAきたみらい高温・干ばつ対策プロジェクトについて
 - ⑨令和8年度JA所有スチールコンテナの払い下げの実施報告について
 - ⑩第1回オホーツク農協酪農畜産対策委員会について
 - ⑪第23回JAきたみらい乳牛共進会について
 - ⑫中東情勢の緊迫化に伴う各種資材情勢並びに当JAの対応について
 - ⑬JAきたみらい農機自動車展示会の開催について
 - ⑭R7年燃料事業正組員及び役員向け利用促進奨励施策実施報告について
 - ⑮人事の発令について
 - ⑯組員状況報告について
 - ⑰理事に対する資金の貸付に係る報告について
- 【決議事項】**
- ①出資減口について
 - ②理事に対する資金の貸付について
 - ③固定資産の取得について
 - ④役員賠償責任保険の締結について
 - ⑤地域運営委員の選任と委嘱について
 - ⑥令和8年度夏期懇談会日程（案）について
 - ⑦令和7年度JAきたみらいディスクロージャー誌の発行について
 - ⑧R8年 肥料事業推進方針について

もっと身近に。JAバンクアプリ。
カンタン登録で口座を管理！ネットバンクへも手軽にアクセス！

GOOD DESIGN

口座残高や明細をいつでも簡単に確認
最大25ヶ月分の入出金明細を表示

キャッシュカードがあればすぐに始められます。郵送や店舗への来店は必要なし！

入出金明細の機能が充実！メモの追加や検索、PDF形式にしてダウンロードできます。

燃料配送センター 営業開始

(SS運営管理グループ所属)

のお知らせ

令和8年6月1日より、燃料配送センター（SS運営管理グループ所属）の営業を開始しております。燃料配送に関わるご注文につきましては、燃料配送センターへご連絡いただきますようお願い申し上げます。燃料配送センターを含むSS運営管理グループの営業時間等については、下の通りとなります。

燃料配送センター（燃料配送関係）	SS運営管理グループ
【住所】北見市端野町三区483番地17 JAきたみらい端野地区事務所 2階	【住所】北見市端野町三区483番地17 JAきたみらい端野地区事務所 2階
【連絡先】TEL：0157-57-3355 FAX：0157-57-5996	【連絡先】TEL：0157-57-3446 FAX：0157-57-5996
【営業時間】平日 8：00～17：00 土曜・祝日 8：00～12：00	【営業時間】平日 9：00～17：00 土曜・祝日 8：00～12：00
【定休日】・毎週日曜日 ・12/31～1/3	【定休日】・毎週日曜日 ・12/31～1/3

※営業時間外のお問い合わせについては、各給油所へお問い合わせください。

きたみらい給油所お知らせ

一部キャンペーン自粛について（継続中）

4月より、燃料油安定供給の為にきたみらい全給油所において一部キャンペーンの開催を自粛しております。ご利用いただいている皆様には大変申し訳ありませんが、石油情勢が安定するまで今しばらく再開をお待ちいただきます様よろしくお願いたします。

※再開の目途が立ち次第、皆様にご連絡させていただきます。

クーポンは毎月発行（次回は広報誌7月号）します。6月のクーポンは7月15日までが使用期間です。クーポンは下記を切り取るか、スマホなどでQR部分を拡大せず画像保存や印刷をしてご使用ください。

6月の割引QRクーポン
～店頭ガソリン・軽油～
5円/L（税込）引き！

有効期限：6月11日～7月15日
※期間中何度でもご使用できます。
QRコードはスマホ等で画像保存していただくか、切り取り線から切り取ってご使用下さい。※拡大・縮小はせず保存して下さい

●取扱給油所・お問い合わせ先●

- ◎中ノ島セルフ ◎端野セルフ ◎相内セルフ
- ☎0157-31-1050 ☎0157-56-4112 ☎0157-37-2519
- ◎訓子府セルフ ◎温根湯フル ◎置戸フル
- ☎0157-47-4831 ☎0157-45-2446 ☎0157-52-3869

※必ず給油前にご提示（フル）・QRの読込（セルフ）を行ってください。（給油後の提示・読込は、割引対象外となります。）
※QRクーポンを忘れた（不所持）場合は、通常給油となります。
※商品券・給油券と併用できます。（R8.4.1より）
※QRクーポンは複数枚のご使用はできません。（1回につき1枚となります。）

組合員の皆様へ

中古農機常設展示場「アルーダ網走」

サマーフェア開催のご案内

今年度も下記のとおりフェアを開催いたします！
お持ちの遊休農機がございましたら、ぜひ展示場へ
出品いただきますようよろしくお願いいたします。

開催日時：令和8年7月9日（木）9：30～15：00
※商談・抽選開始は10：00～となります

開催場所：(株)ホクレン油機サービス 網走支店
(網走市呼人382)

お問合せ先：JAきたみらい農機自動車センター
訓子府町大町158番地 TEL：0157-47-4820



まちがいさがし

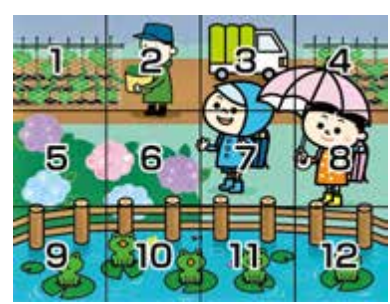
Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：ゆきたけし



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙か、右のQRコードに答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAX又は応募フォームでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの新商品「北海道ピーナッツおかき」をプレゼント致します。



5月号まちがいさがしの当選者

5月号のまちがいさがしの答えは「1、7、8、9、11」でした。

正解者29名の中から抽選の結果、下記の方々が当選しました。おめでとうございます。

- ・田中 静 幸さま(北見) ・伊藤 由 芽さま(訓子府) ・遠藤 栄 惺さま(置戸)
- ・竹本 栄 子さま(訓子府) ・長尾 蒼 空さま(温根湯) ・黒川 春 枝さま(訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」と「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」をプレゼント致します。

時 き付けも終わり、ひと段落。
 ただ、雨が欲しい!!

(訓子府地区 長谷川 幸子さん)

時き付け作業おつかれさまでした!ひと段落してホッとする一方で、作物のためにはもう一声の雨が欲しいところですね。恵みの雨を皆さんで待ちましょう。

VOICE 読者の声

JAきたみらい概要

(令和8年5月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,569人
- ・組合員数(准) 5,328人
- ・組合員戸数(正) 808戸
- ・貯 金 115,013百万円
- ・貸 出 金 17,167百万円
- ・出 資 金 5,090百万円